



誰に対しても物腰が柔らかな堀田社長。境港商工会議所の会頭を務め、グループ企業の松江石油の会長でもある

より強く、より大きく、 よりしなやかに 未来に向けて進歩する エネルギーの総合商社

2023年3月の合併を発表した《堀田石油株式会社》と《松江石油株式会社》。合併後の未来について堀田石油代表取締役社長の堀田収氏と松江石油代表取締役社長飯盛勝氏が対談する。（敬称略）

合併に至るまでの両社のあゆみ

堀田 堀田石油は明治38年（1905年）、境港の水産業を支える会社としてスタートし、モーターゼーションの発達に伴いガソリンスタンド（以下、サービステーション略のSS）事業に進出。それに付帯し

てLPガスなどのエネルギー全般、自動車メンテナンスなどへ広がりました。

飯盛 松江石油は80年の歴史があり、松江市を中心に出雲、大田、飯南エリアに11のSSを展開し、地域に密着したサービスを提供してきました。当社は堀田石油のグループ企業ですが、今後のガソリン需要の減少を見越し、大きな会社になって乗り越えようと合併の運びとなりました。

堀田 近年の社会情勢から、合併してお互いのネットワークから拠点を築き、ガソリン供給を続けつつ、新エネルギーにも対応していく必要を感じました。より強く、より大きく、よりしなやかな会社になりたいですね。

合併準備室を立ち上げ 不安を払拭

飯盛 合併を発表して、まず恐れたのは社員のモチベーションの低下です。1年半前に合併準備室を立ち上げ、新社名や今後の制度などについて話し合いました。当面は両社合わせて18店舗を維持し、現場の人員を減らす予定はありません。

堀田 生活、給与、待遇などは両社の良い方に合わせ、一緒にできることは一緒にやり、何年かかけてひとつになっていくと考えています。合併後は外部から見ても気持ちが良い



「地域に根差し、未来に向けて新しい会社を築く仲間を求めています」と飯盛勝社長

雰囲気のある会社にしていきたいですね。**飯盛** 社員が「入社して良かった」と思える会社になりたいです。そのためにも、会社として存続していかねければならず、エネルギー以外の事業展開の必要性を感じます。

堀田 松江石油は山陰で唯一セブンイレブン併設SSがあり成功している。エネルギーをはじめ、いろいろなことにチャレンジしたい人に来ていただきたいですね。

未来への想いを込めた新社名

堀田 新社名は社内公募しました。松江と境港は海でつながり、山陰は豊かな海の恩恵を受けているため「海の未来に貢献したい」という意味で海と未来を合わせて《株式会社ウミライ》に決まりました。

飯盛 ウミライを選んでもくれた社員が、定年まで勤められる会社にした

いですね。社員は大事に育てますし、希望を持てる会社として存続していきたいです。

堀田 どんなエネルギー構造でも、地域エネルギーはなくなりません。電動化しても車はあり、それに付随したサービスは残る。さまざまエネルギー構造に対応していきたいですね。

飯盛 私は東日本大震災の時に仙台に赴任していたのですが、防災の観点からも複数のエネルギー源を持つことは大切。両社ともすでに災害時に緊急車両の給油ができる災害対応型SSを配備していますが、これも地域貢献の一環です。

堀田 その他の地域貢献も継続していきたいですね。新社名のとおり、山陰の未来に貢献し、社員にとっては未来の生活や夢を実現できる会社を目指しています。



ほったせきゆ
堀田石油 株式会社

地域の暮らしと経済を支え
エネルギー産業の可能性を追う

30
LEADING
COMPANY

堀田石油 株式会社

業種 石油製品販売業

事業内容 石油製品販売/自動車関連事業/
住宅設備関連事業など

創業 明治38(1905)年
代表者 代表取締役社長 堀田 収
社員数 106名(男82名 女24名)
〒684-0002
鳥取県境港市弥生町206
TEL/0859-42-2155
<http://www.hottasekiyu.co.jp>
● 松江石油株式会社
● 境港ガス有限会社
● 有限会社西郷日石
● 海上石油有限会社

求める人材像 **Check!!**

● 総合職
あなたの頑張り地域を笑顔にしたい方をお待ちしております! 学部・学科も前職も問いません。入社後はSS(サービスステーション)スタッフとして、経験を積んでいただきます。その後、本人の希望・適正を考慮しながら、SS店長・ガス営業・法人顧客営業などさまざまな部門、職種に携わっていただきます!

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0859-42-2155

採用直通 E-mail

recruit-hotta-g@hottasekiyu.co.jp

資料請求

インターンシップ

会社見学

公式サイトは
こちら



「地域スポーツのパートナーも多く務め、地域貢献にも積極的です。地元で信頼できる企業という印象を持っていました」と話すのはSS課主任の八重倉健介さん(34)。熊本県からUターンし、中途入社した。現在は《卸地入口SS》に勤務。「主任として後輩たちをまとめながら、上司との調整役ができれば」と抱負を語る。「ここは洗車・コーティングが強いSSなので、僕もどんな洗車の技術を高めたいですね。いずれは自動車整備士の国家資格にもチャレンジしたいです」と向上心を

「自動車が好きで、整備をしたくてこの会社を選びました」と話すのは《整備ショップ車検館》の事業所長、西賀圭輔さん(43)。米子工専を卒業した2000年から、車検館に勤務している。車検館では、車検や故障車の修理など自動車整備全般の作業を行うが、事業所長である西賀さんは管理業務も担当する。「お客様の命に関わる仕事なので、作業ミスがないようにチェックを重ねながら、一方で遅れが出ないように仕上げることを心がけています」と安全性を高め、全体のスピード感を損なわないよう差配する。「さまざまな種類の車を扱うので、車が好きな人にはとても楽しい職場ですよ!」

「船への給油作業を行う《船舶課》の仕事を、境港ならではの経験、4年前に直売課に異動し、主に法人営業とガソリンスタンドへの卸売りを担当している。卸売りではSSでの経験を生かし、燃料のほか、



人気のコンビニ併設SS

松江市にある松江八幡町SSは、山陰で唯一《セブンイレブン》を併設するSSとして、2018年10月にオープンした。店長の長瀬真智子さんは26年前に松江石油に入社し、4店舗のフルサービスSSを経て、同店舗のオープンと同時に異動。「セルフのスタンドも、コンビニも初経験。スタッフとともに店をつくり上げました」と振り返る。最初は形態の違いに戸惑ったことも多かったが、「毎日が新鮮で楽しい」とはつらつと笑う。

快適なカーライフを幅広くサポート

地域に密着し多様なエネルギーを供給

「地域スポーツのパートナーも多く務め、地域貢献にも積極的です。地元で信頼できる企業という印象を持っていました」と話すのはSS課主任の八重倉健介さん(34)。熊本県からUターンし、中途入社した。現在は《卸地入口SS》に勤務。「主任として後輩たちをまとめながら、上司との調整役ができれば」と抱負を語る。「ここは洗車・コーティングが強いSSなので、僕もどんな洗車の技術を高めたいですね。いずれは自動車整備士の国家資格にもチャレンジしたいです」と向上心を

「自動車が好きで、整備をしたくてこの会社を選びました」と話すのは《整備ショップ車検館》の事業所長、西賀圭輔さん(43)。米子工専を卒業した2000年から、車検館に勤務している。車検館では、車検や故障車の修理など自動車整備全般の作業を行うが、事業所長である西賀さんは管理業務も担当する。「お客様の命に関わる仕事なので、作業ミスがないようにチェックを重ねながら、一方で遅れが出ないように仕上げることを心がけています」と安全性を高め、全体のスピード感を損なわないよう差配する。「さまざまな種類の車を扱うので、車が好きな人にはとても楽しい職場ですよ!」